

部活動地域移行に係るロードマップ【沼田町 2024.12月現在】

地域の現状・課題

- 北空知1市5町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町、雨竜町、沼田町）の多くの少年団活動・部活動において、人数の不足から単独での活動が困難となっており、地域移行の議論が始まる以前から、既にいくつかの活動を他市町と合同で行っている状況である。
- 合同で活動を行うにあたり、活動場所までの移動に課題がある。部活動が始まる時間は15時30分～16時00分頃であり、共働きであることも多い子育て世代にとって大きな負担となっている。また、保護者対象のアンケートでも、大多数の保護者が活動場所（町外）への移動に課題があると考えている。
- 児童生徒は、存続できている少ない部活動の中から選んで加入することとなるため選択肢が少なく、中学生を対象としたアンケートの結果、「やりたい部活動に加入している」と回答する生徒と、「やりたい部活動がない」と回答している生徒の割合がほぼ同程度になっている。
- 現在は、中学校教諭が部活動の指導に当たっているが、地域移行後に「できれば兼職兼業による指導に従事したくない」と考える教員がほとんどであり、地域移行後の指導者の人材確保、また確保手段の確立に課題がある。



現在の取組内容

- 令和6年より、北空知1市5町で広域的に地域移行に取り組むための枠組み（北空知広域連携検討会議）を設定した。1市5町それぞれが各市町において地域協議会を設立し、関係者（学校、PTA、体育協会、文化団体等）への情報共有・意見交換を行い合意形成を目指しつつ、地域から吸い上げた意見を北空知広域連携検討会議の場で協議を行う。（※12月現在、広域・地方ともに1回ずつ会議を開催）
- 上記でも触れたが、北空知内の小学生・中学生・教員・保護者を対象としたアンケートを実施した。本アンケートにより、現状と課題意識、活動におけるニーズの洗い出しを行い、今後の検討の基礎となる情報収集を図った。
- スポーツ庁委託事業「地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト」に実証自治体として参加し、北空知広域モデル化に向けた実証を行っている。10月にマルチスポーツ体験会・ICTを用いた指導体験を、11月には域内の関係者を集め広域連携セミナーを実施した。
- その他、スポーツクラブ関係者を集めたシンポジウムや、道主催のフォーラム等に参加し、地域移行に関して必要な考え方や先進事例についての情報収集を行っている。共通の知識の元で議論を進めるため、得た知見は随時、地域協議会委員へ共有している。

今後の方向性

- R8年度当初時点で、平日も含めた地域移行ができるように協議を進めていく。
- 活動場所、移動方法、指導人材、受け皿となる団体、財源等、実施する上で課題となる各論について、北空知1市5町で分担して手法の検討や案の作成を行う。
- 適宜、情報発信を行い、地域内で状況を知らないという関係者が生まれないよう特に配慮する。

部活動地域移行に係るロードマップ【沼田町 2024.12月現在】

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
-------	-------	-------	-------

